



〈24.4.1～24.9.30〉

だいしんレポート

2012年度上半期ミニディスクロージャー誌

DAISHIN
DISCLOSURE



だいしん
大分信用金庫

ごあいさつ

皆様方には、平素より「だいしん」大分信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

私ども「だいしん」は、大正11年に創業以来、会員制度による協同組織金融機関として、地域に密着した健全経営を行ってまいりました。

さて、上半期におけるわが国の経済は、復興関連需要などから底堅く推移し、総じて横ばいの動きとなっておりますが、欧州債務問題の今後の展開、米国経済の回復力、新興国・資源国の物価安定と成長の両立の可能性など、世界経済を巡る不確実性は引続き大きく、先行きは楽観できない状況です。

このような情勢の中、当金庫におきましては、一段と高まりつつある地域金融機関への期待に応えるべく、「迷わず信用金庫する」理念のもと、小口多数と狭域高密着に徹して基盤強化を図り、中小企業金融の円滑化に最大限注力して参りました。

この結果、24年9月末現在の業績は、預金残高2,024億円、貸出金残高850億円、当期純利益は1.9億円となりました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は、安定した利益の計上により、対前期末比0.02ポイント上昇して22.88%となりました。

これもひとえに皆様方のご理解ご協力のお陰と存じ、心から感謝致しますとともに、本年11月14日に創立90周年を迎えるにあたり、更なる体質強化に努め、来るべき100周年に向けての足固めを行うことで、お客様の利便性向上と地域社会の繁栄に貢献してまいりますので、何卒よろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この半期ディスクロージャー誌は、地域金融機関としての情報開示や説明責任を果たす意味で、主要な財務内容や地域活動の状況について開示しているものであります。

皆様方におかれましては、是非とも本冊子をご高覧頂き、少しでも「だいしん」へのご理解を深めて頂ければ幸甚に存じます。

平成24年11月

会長 山上 博資
理事長 和田 政則



会長



理事長

当金庫の概要 (平成24年9月末現在)

- 創業…大正11年11月 / ● 本店所在地…大分市大道町3丁目4番42号 / ● 預金…202,490百万円 / ● 貸出金…85,066百万円
- 出資金…682百万円 / ● 会員数…29,623名 / ● 店舗数…27店舗 / ● 常勤役員数…223人

主要な経営指標の推移

<預金、貸出金等の推移>

	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末	前年同期比
預金残高	197,736	201,592	202,490	4,753
貸出金残高	87,148	84,909	85,066	△2,082
有価証券残高	47,785	50,823	54,220	6,434
預け金残高	79,860	82,395	80,905	1,044
総資産額	218,230	222,066	223,299	5,069
出資総額	684	684	682	△1
常勤役員数	227	223	223	△4

注・総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

<収益及び利益等の推移>

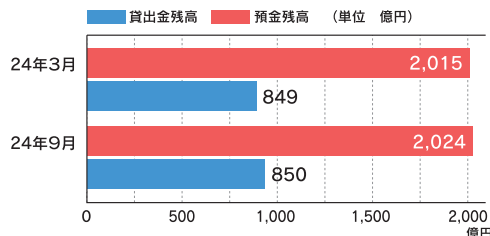
	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末	前年同期比
経常収益	1,928	3,788	1,827	△100
経常利益	362	553	302	△59
業務純利益	338	890	299	△39
業務粗利益	1,703	3,347	1,617	△86
当期純利益	219	148	197	△21

注・23年9月末計数及び24年9月末計数は6ヶ月間の実績です。

会員の状況

区分	平成24年3月末	平成24年9月末	期首比
法人会員	4,035	4,040	5
個人会員	25,330	25,583	253
(個人事業主)	(3,262)	(3,309)	(47)
合計	29,365	29,623	258

<預金貸出金残高の推移>



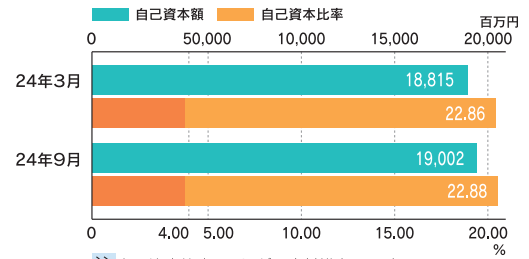
自己資本比率等の状況(単体ベース)

(単位:百万円、%)

区分	平成24年3月末	平成24年9月末	期首比
自己資本額	18,815	19,002	186
基本的項目	17,965	18,161	196
リスクアセット等	82,286	83,023	736
自己資本比率	22.86	22.88	0.02
基本的項目比率	21.83	21.87	0.04
総所要自己資本額	3,291	3,320	29

注 1.自己資本比率=自己資本額/リスクアセット等
2.総所要自己資本額=自己資本比率の分母(リスクアセット等)×4%

<自己資本額・比率の推移>



注 自己資本比率は4%が国内基準 ()

有価証券の時価情報

<売買目的有価証券> 該当ありません

<満期保有目的の債券>

(単位:百万円)

区分	種類	平成24年3月末			平成24年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	7,603	7,975	372	8,303	8,762	458
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	24,978	25,543	564	25,377	26,019	641
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	32,581	33,518	937	33,681	34,781	1,099
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	100	100	△0	0	0	△0
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	697	696	△1	900	899	△0
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	797	796	△1	900	899	△0
合計		33,379	34,315	935	34,581	35,680	1,099

注 1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

<その他有価証券>

(単位:百万円)

区分	種類	平成24年3月末			平成24年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	17,076	16,481	594	19,605	18,701	904
	国債	15,474	14,955	519	17,875	17,056	819
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	1,601	1,526	75	1,730	1,644	85
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	17,076	16,481	594	19,605	18,701	904
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	335	335	△0	-	-	-
	国債	300	300	△0	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	34	34	△0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	335	335	△0	-	-	-
合計		17,411	16,816	594	19,605	18,701	904

注 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(注)本資料に掲載しております計数は、原則として単位未満を切捨て、構成比等については少数点第3位を切捨てて表示しております。

<時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券>

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月末		平成24年9月末	
	貸借対照表計上額		貸借対照表計上額	
非 上 場 株 式	32		32	
そ の 他	-		-	
合 計	32		32	

注 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

■貸出金残高業種別内訳

(単位:百万円、%)

業 種	平成24年3月末		平成24年9月末	
	残 高	構 成 比	残 高	構 成 比
製 造 業	2,827	3.32	2,894	3.40
農 業、林 業	111	0.13	105	0.12
漁 業	178	0.20	213	0.25
鉱業、採石業、砂利採取業	382	0.44	436	0.51
建 設 業	8,691	10.23	8,454	9.93
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-
情 報 通 信 業	73	0.08	55	0.06
運 輸 業、郵 便 業	1,288	1.51	1,179	1.38
卸 売 業	2,545	2.99	2,494	2.93
小 売 業	6,481	7.63	5,969	7.01
金 融 ・ 保 険 業	2,276	2.68	2,288	2.68
不 動 産 業	17,926	21.11	19,472	22.89
物 品 賃 貸 業	129	0.15	120	0.14
学術研究、専門・技術サービス業	164	0.19	158	0.18
宿 泊 業	2,315	2.72	2,300	2.70
飲 食 業	2,085	2.45	2,123	2.49
生活関連サービス業、娯楽業	3,583	4.21	3,469	4.07
教 育、学 習 支 援 業	290	0.34	268	0.31
医 療 ・ 福 祉	914	1.07	896	1.05
そ の 他 の サ ー ビ ス	2,382	2.80	2,310	2.71
国 ・ 地 方 公 共 団 体	437	0.51	222	0.26
個 人	29,822	35.12	29,629	34.83
合 計	84,909	100.00	85,066	100.00

■金融再生法開示債権額

(単位:百万円、%)

	平成24年3月末		平成24年9月末	
	残 高	総与信に占める割合	残 高	総与信に占める割合
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,104	4.69%	4,044	4.62%
危 険 債 権	3,740	4.27%	3,770	4.31%
要 管 理 債 権	286	0.32%	274	0.31%
小 計 (A)	8,132	9.29%	8,089	9.25%
正 常 債 権	79,330	90.70%	79,353	90.74%
合 計	87,462	100.00%	87,442	100.00%
保 全 額 (B)	7,427		7,384	
貸倒引当金 (C)	3,866		3,855	
担保、保証等 (D)	3,561		3,529	
保 全 率 [(B) / (A)]	91.33%		91.28%	
担保・保証等控除後債権に対する引当率 [(C) / ((A) - (D))]	84.57%		84.54%	

- 注 1.「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権です。
 3.「要管理債権」とは、3ヶ月以上の延滞の状態にあるか、もしくは貸出条件緩和を行っている債権です。
 4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
 5.金融再生法開示債権には貸出金以外の債権(債務保証・未収利息・その他与信に関連する仮払金等)が含まれています。
 6.「貸倒引当金(C)」は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

4月

- 2日 平成24年度新入職員入庫式 **Ph1**
- 8日 鶴崎けんか祭り参加

5月

- 10日 だいしんビジネスフリーローン取扱開始
- 18日 萬弘寺の市参加(24日迄)
- 27日 大分川河川クリーン活動参加

6月

- 1日 「サマー定期・メンバーズ サマー定期」取扱開始(8月31日迄)
- 2日 七瀬川ホテルまつり参加
- 15日 「信用金庫の日」イベント開催 **Ph2**
 テーマ:だいしんハートフルエコセミナー
 イベント:ロボットのぞみパフォーマンス
 講演会 講師:らんま先生
 演題:環境パフォーマンスで学ぶ、笑顔の地域づくり
- 24日 第17回 鶴崎・大在地区ミニバレーボール大会開催



Ph1



Ph2

7月

- 6日 長浜神社祭り参加
- 15日 弥栄神社・大国社夏祭り参加
 若宮神社祭り参加
 臼杵祇園祭り参加(21日迄)
- 21日 みなみおおいた夏祭り参加(22日迄)
- 23日 SAEMON23参加
- 24日 天神さま夢通り参加
- 25日 天満社祭り参加
- 28日 県下信用金庫野球大会参加
 ななせ火群まつり参加(29日迄)
- 29日 別保商工夏祭り参加



Ph3

8月

- 3日 第28回「府内戦紙」出場 **Ph3**
- 5日 さいき番匠の火まつり「市民総踊り大会」参加
- 20日 だいしん震災こども応援積金取扱開始(H25年2月28日迄)
- 24日 東大分商工夏祭り参加
- 25日 本場鶴崎踊り大会出場 **Ph4**
 「大分ケーブルテレコム賞」受賞
- 28日 全国保証住宅ローン「つなぎ融資保証」取扱開始



Ph4

9月

- 3日 だいしんリフォームローンリニューアル
- 8日 新屋敷げん気祭り参加
- 14日 仲秋祭・浜の市参加
- 22日 海ホテルまつり参加



経営理念

1. 地元産業の発展に寄与する
2. 利益を得たいが他人の利益を先にする
3. 内容を堅実にし待遇の優れた金庫とする
4. 五訓精神の徹底を期する

五訓

1. 時間を徒らに費やすな
2. 物を粗略にするな
3. 如何なる仕事も楽しみて勤めよ
4. 人に親切にし誠をつくせ
5. 吾身を省み人をそしるな

経営方針

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しく、信用金庫業界においても自己責任原則に基づく経営の健全性、信頼性向上への要請が一段と強まってきています。

こうした情勢のもとで、地域限定・中小企業専門・協同組織たる信用金庫の機能発揮がますます強く求められるものと認識し、経営の合理化、効率化を推進するとともに各種リスク管理の徹底、経営基盤拡大を重要課題とし、「迷わず信用金庫する」をモットーに「自立と共生」の精神で、「健全経営」と「地域貢献」に更なる努力を重ねて参る所存です。

シンボルマーク



矢車草

矢車草は日本古来のゆかしい、多くの人に愛されてきた親しみ溢れる草花です。小さな花卉が集まってひとつの花ができていくように、人と人との出会いから生まれる小さな輪がだんだんと膨らんで大きく成長し、やがてコミュニティという花を咲かせます。私たちは、この小さな出会いを大切に考え公共性豊かな金融機関として地域社会に奉仕し、よりよい環境づくりの中心になりたいと考えています。信頼される地域のコミュニケーションが私たちの願いです。